

# 親和会だより

平成31年春号 No5 発行・平成31年3月27日

## 親和会の基本理念

私たちは、利用者の個人の尊厳を大切に、障害者が地域の中で自分らしく生きるための支援を行うとともに、地域に開かれ信頼される法人運営をめざします。

社会福祉法人 親和会  
理事長 山本 久喜  
〒997-0024  
鶴岡市朝陽町4-10  
(法人本部)

TEL : 0235-64-1769  
FAX : 0235-24-5335  
Mail : info@sinwa-kai.or.jp  
H P : http://sinwa-kai.jp

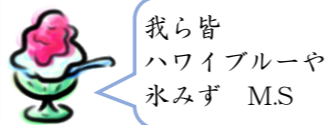
※ さごし利用者で書家の梅津玄雲氏に揮毫していただきました。

寒かった冬もようやく過ぎ去り、春のぬくもりを感じる今日この頃です。

本部・あすかの移転（7月）や生活訓練の統廃合（11月）、グループホーム「大山の家」の新設（6月）など、さまざまなことがあった平成30年度も間もなく終わります。「親和会の平成30年度」をふりかえます。

## 猛暑の夏 かき氷で乗りきりました！！

さんのう・あすか



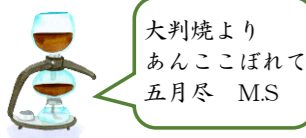
我ら皆  
ハワイブルーや  
氷みず MS

平成30年度の夏は、とにかく暑かった!!ですね。

「あすか」と「さんのう」では、8月に「あすか」にあるかき氷器で職員お手製のかき氷をいただきました。ひんやり、気持ちよかったです。

さんのうには冷凍庫がなく、氷がなかったので休憩時間に飲む麦茶もぬるくて大変でした。かき氷が出てきて、利用者も職員もみんな大喜び！大盛況でした。

1日目と2日目でシロップを替えてみると、大いに生き返った2日間でした。ちなみに、「さんのう」では、後日、冷凍庫を購入しました。



大判焼より  
あんここぼれて  
五月尽 MS

## チャレンジデー 鶴岡を歩きました～ やまびこ

「やまびこ」では、5月30日（水）に「チャレンジデー」に参加しました。10数名が参加。「やまびこ」から市内の森茂八商店まで約2kmを歩きました。森茂八商店につき、心地よい疲労を感じながらアイスクリームなどを食べました。ところで、チャレンジデーって世界中で行われているんですよ～私は初めて知りました。



チャレンジの記念にパチリ

## パンやお菓子 バザーに参加！！

あずま「工房おひさま」

「あずま」では、サテライト施設「工房おひさま」で製造したパンや焼き菓子を、3月4・8日開催の「ハッピーバザー」（酒田市）に、6日には「ロビーバザー」（庄内総合支庁）に出店しました。

バザー当日には多くのお客様に足を運んでいただき完売しました。

食パンは改良を加えてきただけに、製造・販売にたずさわった利用者も「手応え」を感じることができたバザーとなりました。



バザーにて

焼きたて



# 事業所別・昼食人気メニュー 発表！



親和会では、調理員さんが各事業所で昼食をつくり、利用者の皆さんに食事を提供しています。野菜など物価高騰の折ですが、安い価格でできるだけヘルシーで美味しい食事を作ることを心がけています。利用者の皆さんにとって、食事は楽しみの一つです。…ということで、事業所別・昼食人気メニューをアンケートしてみました。

さんのう

第1位 ラーメン  
第2位 カレーライス  
第3位 魚・パスタ

あすか

第1位 麺類  
第2位 ゴマ豆腐  
カレーライス  
ビビンバ丼

やまびこ

第1位 麺類  
麺類がダントツ！  
なかでも「ラーメン」  
がNo.1。ついで「焼き  
そば」が人気でした。



あすかのスパゲティ  
ラーメン  
お店みたいな味だと  
大好評です～

さごし

順位 決せず

ビビンバ・酒田フーズのハン  
バーグ・焼きそば・パスタ  
・ピラフ・チキン南蛮など  
多数

あずま

第1位 カレーライス  
第2位 ラーメン  
ミートソース  
スパゲッティ

## 「あすか」で調理をしている 栄養士さんの話

調理の際に、一番気をつけているのは「衛生管理」です。

ノロウイルスなどの食中毒を起こさないように、「賞味期限をきちんと守る」「手洗いや消毒をきちんとする」「厨房に入出入りする人を限る」など、安心して食べていただけるよう細心の注意を払っています。

そんな風にして作った料理を皆さんに「おいしい」と言ってもらえると、作り甲斐があります。

吾と彼と  
トマトと土の  
香をもぎる  
MS



## 家庭菜園に挑戦 ～ミニトマト・はつかだいこん収穫しました～ さごし

「さごし」の生活訓練では、今年度より家庭菜園にチャレンジしています。

家庭菜園は初めてなので、まずは「さごし」の一角にプランターでミニトマトやはつかだいこんを栽培。種を植えました。はじめは「なんで家庭菜園をするの?」と思っていた利用者の方も、手入れをしているうちにプランターに目が行くようになり、意欲がわいてきました。

秋には、無事、自分たちの手でミニトマトやはつかだいこんを収穫することができました。自分たちで育てた野菜は格別です。



さごしでは酒田市美化サポートの一環として、花壇を作っています。きれいな花々が咲きました。

